

《世界が尊敬する忍者》

ぶじんかん

はつみまさあき

武神館宗家 初見良昭の足跡をたどる

市は、野田市郷土博物館において、令和4年1月12日（水）から3月28日（月）にかけて企画展「世界が尊敬する忍者～武神館宗家 初見良昭の足跡をたどる～」を開催する。野田市生まれで、世界各国で武道体術を指導してきた初見良昭氏が所有する忍者刀、忍具、忍び鎧など多岐にわたる武具や、自身の来歴・資料を通して武芸家として歩んだ氏の足跡をたどる。

●企画展「世界が尊敬する忍者～武神館宗家 初見良昭の足跡をたどる～」

会 場 野田市郷土博物館 1 階展示室

会 期 令和4年1月12日（水）から3月28日（月）まで

時 間 午前9時から午後5時まで（火曜休館）

展示品 初見良昭氏所有の忍者刀・忍具や世界各国の著名人からの感謝状など

～展示の一番の目玉は、大型ケースに展示予定の明珍宗周^{みょうちんむねかね}忍者鎧～

「明珍」は甲冑の名門流派であり、日本でも数少ない忍び鎧である。この忍鎧は「少年忍者風のフジ丸」の終わりに初見良昭宗家と本間千代子さんの忍術解説「忍術千一夜」で後ろに飾られていた鎧でもある。

主 催 野田市

協 力 武神館

●初見良昭氏の来歴

1931年千葉県野田市生まれ。幼少時より武道を始め、空手や柔道（講道館五段）、銃剣道のほか、古流武術やボクシングなどを経験。戸隠流忍法 33 代目宗家の高松寿嗣氏に入門し、1958 年（昭和 33 年）に高松氏から戸隠流忍法 34 代目宗家を含む九流派を継承する。テレビアニメ「少年忍者風のフジ丸」の実写パート「忍術千一夜」や特撮テレビドラマ『世界忍者戦ジライヤ』に出演。50 歳頃より、アメリカを皮切りに世界各国で武道体術を指導。世界各国の要人からの感謝状や表彰状が数多く送られている。海外から多くの門下生が指導を受けに野田市を訪れている。



<市ホームページはこちら>

問合せ＝魅力推進課・（直通）04-7199-2090

（代表）04-7125-1111（内線）2331

野 田 市